

議会の更なる機能強化に向けて

平成29年6月に議会改革協議会を設置し、延べ17回にのぼる議論を重ね、議会改革案を取りまとめました。議会改革案の主な内容は11ページ、詳細については小矢部市議会のホームページをご覧ください。



(写真：4月26日に報告書を議長へ手渡しました)



当初予算・補正予算の概要 ……	2	人事案件 ……	10
審議経過 ……	2	閉会中委員会開催状況 ……	11
審議議案・議員別賛否状況 ……	3~4	議長交際費 ……	11
代表・一般質問 ……	5~9	議会改革案の主な内容 ……	11
予算特別委員会 ……	10	会務報告・次回議会日程 ……	12
委員会報告 ……	10	編集後記 ……	12

平成30年度予算可決

夢つなく 魅力育む積極予算

3月2日から22日までの21日間を会期として3月定例会を開会しました。市長から平成30年度一般会計及び各特別会計予算、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算、条例制定と条例改正、専決処分事項の承認など議案30件が提案され、それぞれ原案のとおり可決・承認等しました。また、議員派遣を可決しました。

◎ 当初予算の概要

会計名	予算額	伸率
一般会計	161億4,730万円	7.1%
公共用地先行取得事業特別会計	1億4,750万円	△0.7%
国民健康保険事業特別会計	27億4,060万円	△17.5%
後期高齢者医療事業特別会計	8億7,990万円	0.0%
下水道事業特別会計	27億1,020万円	0.4%
農業集落排水事業特別会計	1億7,780万円	1.1%
東部産業団地事業特別会計	1億2,520万円	△0.8%
水道事業会計	10億7,939万円	6.7%
合計	240億 789万円	2.4%

*当初予算の詳細は、「みんなで考えよう おやべの予算」をご覧ください。

3月定例会の審議経過

- 2日 本会議（提案理由説明）
全員協議会
- 5日 議案調査日
- 6日 議案調査日
- 7日 議案調査日
- 8日 議会運営委員会
本会議（代表・一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 12日 予算特別委員会
- 13日 予算特別委員会
- 14日 予算特別委員会
- 15日 民生文教常任委員会
公共施設再編特別委員会
- 16日 産業建設常任委員会
交通対策特別委員会
- 19日 総務常任委員会
議会改革協議会
- 20日 議案調査日
- 22日 議会運営委員会
委員長会議
全員協議会
本会議（質疑・討論・表決他）

◎ 補正予算の概要

議案第9号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算（第8号）

補正額 △1億7,245.6万円 累計予算額 153億2,767.2万円

＜主な内容＞

- ・津沢小学校設備修繕費 129.6万円
- ・石動中学校施設修繕工事費 367.2万円
- ・定住促進助成金の増 972.1万円
- ・社会資本整備総合交付金事業等の減 △2億2,003.6万円
- ・災害復旧事業関係費の減 △5,491.7万円

議案第10号 平成29年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正額 △2億9,268.5万円 累計予算額 24億781.5万円

議案第11号 平成29年度小矢部市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入補正額 354.3万円 累計 6億7,694.3万円

収益的支出補正額 333.5万円 累計 6億1,085.5万円

資本的収入補正額 1,338.9万円 累計 1億9,288.9万円

3月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

	区 分 (主な内容)	議決結果	中野	山室	加藤	義浦	吉田	藤本	白井	福島	中田	石田	嶋田	沼田	中西	尾山	砂田	宮西	
			留美子	秀隆	幸雄	英昭	康弘	雅明	中	正力	正樹	義弘	幸恵	信良	正史	喜次	喜昭	佐作	
当初予算	議案第1号 平成30年度小矢部市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	×	○
	議案第2号 平成30年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	×	○
	議案第3号 平成30年度小矢部市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	×	○
	議案第4号 平成30年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	×	○
	議案第5号 平成30年度小矢部市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
	議案第6号 平成30年度小矢部市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
	議案第7号 平成30年度小矢部市東部産業団地事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
	議案第8号 平成30年度小矢部市水道事業会計予算 (予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
補正予算	議案第9号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第10号 平成29年度小矢部市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第11号 平成29年度小矢部市水道事業会計補正予算(第1号) (予算の概要は2ページを参照ください)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
条例の制定改正	議案第12号 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ・国民健康保険事業の運営の県域化等に伴い、関係条例の整備を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第13号 小矢部市勢総合計画審議会条例の一部改正について ・小矢部市勢総合計画審議会の組織(委員)構成等の見直しを行うため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第14号 小矢部市商工業振興条例の一部改正について ・引用する法律の名称等が変更になったため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第15号 小矢部市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について ・根拠となる法律名称等が変更になったため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第16号 小矢部市職員定数条例の一部改正について ・事務部局の定数を変更するため、所要の改正を行うもの。 (職員定数の合計については変更ありません)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第17号 小矢部市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について ・能力及び実績に基づく人事管理を徹底するため、地方公務員法の規定に基づき、職員の「降給」「休職」の事由等について所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○
	議案第18号 小矢部市個人情報保護条例の一部改正について ・行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律が一部改正されたため、新たに「個人識別符号」「要配慮個人情報」の定義を設けるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					○

議長は表決に加わりません

3月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

(賛否) ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議案番号	区分 (主要内容)	議決結果	中野留美子	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	福島正力	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵	沼田信良	中西正史	尾山喜次	砂田喜昭	宮西佐作	
			議案第19号	小矢部市印鑑条例の一部改正について ・性同一性障害等への配慮から、印鑑登録証明書の「性別」の欄を廃止するため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○
議案第20号	小矢部市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について ・子育て世代の経済的負担の軽減を図り、より一層の子育て支援を推進するため、入院費に係る助成の対象者を高校生等まで拡充する改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
議案第21号	小矢部市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正について ・石動幼稚園が閉園するため、所要の改正を行うもの。併せて、幼保連携型認定子ども園に係る学校医等について規定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○			○	○	○
議案第22号	小矢部市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について ・平成30年度から、新たに非常勤の特別職である部活動指導員が配置されることになるため、その報酬額等について規定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
議案第23号	小矢部市小中学校統廃合審議会設置条例の一部改正について ・小矢部市小中学校統廃合審議会の委員構成等を見直すため、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
その他	議案第24号 市道の路線認定について ・石動駅南土地地区画整理事業等に伴い、市道7路線を新たに認定するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
専決承認	承認第1号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)(1月17日専決)	承認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
	承認第2号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第6号)(2月1日専決)	承認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
	承認第3号 平成29年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)(2月7日専決) ・除排雪経費が不足したため、必要額の増額補正を行ったもの。	承認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
人事	諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
	諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦	適任	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
	諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦 (人事案件の概要は10ページを参照ください)	適任	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○					
請願	請願第1号 消費税10%中止を求める意見書採択の請願書 請願者 消費税をなくす富山県の会 代表世話人 水谷敏彦(紹介議員 砂田喜昭)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×		×	○	×	

議長は表決に加わりません

■ 陳情の処理状況

陳情	陳情第1号 安心・安全の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員に関する国への意見書提出を求める陳情書 陳情者 富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦義憲	保留
	陳情第2号 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を国に求める陳情書 陳情者 富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦義憲	保留



会派「誠流」
吉田 康弘 議員

◎平成30年度予算の編成方針と財政健全化について

質問 人口の減少が叫ばれる中
にありながら、今後、大型公共
事業が予定されている。市の予
算が年々膨張を続けていること
に懸念を抱く。今後の財政の見
通しを問う。

積極的な投資の一方で、市内
には高齢化率が50%を超える町
内が複数あり、町内会を単位と
するコミュニティとしての地域
力が弱くなっているが、どのよ
うな所見を持って今後の施策を
展開していくのか。

市長 実質公債費比率は35年度
に約17%、将来負担比率は32年
度に約21%、特別会計を含めた
全会計の市債総額は32年度に約
355億円それぞれピークを迎え、
その後改善されていくと見込ん
でいる。交付税措置の高い有利
なものを優先して借り入れるこ
となどにより、後年度の公債費
の負担を軽減するなど、常に財
政指標に注視しながら、健全財
政を堅持したい。

また、少子高齢化が進展して
いる地域の実情を把握、検証し、

地域福祉の中核となる社会福祉
協議会等関係団体と連携した包
括的な取り組みを進めることが
重要であると考えている。より
効率的な体制づくりを検討し、
地域社会の維持、福祉の推進に
努めていきたい。

◎第7次総合計画と公共施設等 の再編計画について

質問 公共施設等の再編に関し
て、昨年2月に議会から市長に
意見書を手渡したところである
が、その中でも、中学校の統廃
合は最優先に取り組むべき課題
である。①中学校を1校新設し、
②現在の中学校4校を小学校と
して利用し、現在の小学校5校
を企業誘致や住宅地に活用する
などの大胆な再編計画が市政発
展の起爆剤となるよう期待して
いる。スピード感を持って再編
計画を実施すべきであり、第7
次総合計画期間内での統廃合の
実現を求めたい。市長の見解を
問う。

市長 ①教員の人事異動ができ
ない、生徒1人当たりの教職員
数が少なくなる、通学距離が長
くなるなどの課題もあることが

ら、小中学校統廃合審議会にお
いて、議論を深めていただきた
いと考えている。②階段の蹴上
げの高さの基準が異なることか
ら校舎の構造的な改修工事が必
要になり、また、小学校として
用途変更する場合、国に対し補
助金の返還等が必要になる可能
性があるなど、多くの点につい
て整理が必要であり、今後の研
究課題としたい。

取り組みを具体化するに当た
り、審議会からの答申や財政計
画等を踏まえながら、第7次総
合計画実施計画の中で対応する
ことになると考えている。

◎能越自動車道福岡本線料金所 廃止に伴う新料金について

質問 小矢部東本線料金所の料
金を引き上げる方針が示されて
いるが、これに伴う地元住民、
通勤者等への緩和策について問
う。①緩和対象となる地元住民
の範囲と、年間での緩和策によ
る払い戻し総額はいくらか。②
払い戻しを受ける場合の要領と、
その費用負担はどかが担うのか。
③緩和策として300円を下回る料
金案が示されているが、それで

もなお、現状よりも負担が大き
くなる。利用者に対してどのよ
うに理解を求めるのか。

市長 ①小矢部東に・福岡に
周辺に居住している人、周辺に
通勤通学の目的地がある人など
とされているが、小矢部市全域
が対象となるよう県に要望して
いきたい。払い戻し総額につい
ては、現段階では予測困難であ
る。②手続方法や払い戻しの際
の費用負担などは、これから詳
細が決まる。対象者の負担にな
らないよう、簡易な手続きとな
るよう要望していきたい。③福
岡本線料金所が廃止となり利便
性が向上した一方で、小矢部東
本線料金所の料金引き上げに伴
い負担増となる利用者がいるこ
とを十分に認識している。国に
よる一元管理により、さらに利
便性が向上するよう、引き続き
国・県に対して強く要望してい
きたい。



議会からは市内の
小中学校の統廃合を
提言している

代表・一般質問の詳細については市議会ホームページ
で公開している会議録をご覧ください。(3月定例会分
は6月上旬更新予定)



◎おやべ型1%まちづくり事業について
◎改正労働契約法による2018年問題の課題



白井 中 議員

質問 クロスランドおやべ近くの桜並木では、開花時期に合わせて、ほんぼりでライトアップを行う事業が実施されており、これが新たな桜の名所として交流人口の増加等に寄与するものと期待している。これぞおやべ型1%事業のモデル事業と言えるのではないかと。

民生部長 紹介のあった事業は本市の活性化に結びつく事業として期待を寄せているが、市としては公平性を期する観点から、現段階で特定の事業について見解を示すことは差し控えたい。

質問 平成30年4月1日から、有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときは、労働者の申し込みにより無期労働契約に転換できるルールがスタートするが、公務員はこの適用を受けない。その理由を問う。

総務部長 任期の定めのない常勤職員については、法により、長期継続任用を前提とした人材の育成と人事の公正を確保する観点から、競争試験による採用を原則



クロスランドおやべ近くの茶ノ木川の桜並木

としている。このため、臨時職員などが任期の定めのない常勤職員として任用されるためには、競争試験などを行う必要があり、労働契約法上の仕組みから除外されているものである。

質問 小矢部市役所で雇用されている有期雇用の臨時職員や嘱託職員数とその就業態について問う。また、任用期間が通算5年を超える臨時職員は何人いるのか。

総務部長 嘱託職員は、特殊な知識や技能等を必要とする職務に就いており、20人いる。また、臨時職員は、フルタイムで67人、パートタイムで256人いる。内訳は、専門職が29人、事務職が50人、作業職が44人である。このうち、任用期間が通算5年を超える者は90人ほどいるが、無期労働契約に転換することはない。

◎平成30年大雪について
◎移住・定住について



藤本 雅明 議員

質問 今年の大雪が市民生活に与えた影響、被害、問題、対応について問う。

民生部長 市営バスについては、運休や運行の遅れが生じた。ごみ収集については、収集時間の遅れや収集できない町内が発生した。バス利用者や自治会への情報伝達体制の確立等が重要であると認識した。

産業建設部長 短時間での大量降雪により、除雪機械や、消雪装置の能力を超え、多くの路線で除雪状態が悪かった。再度除雪等を行い、道路交通の確保に努めた。

産業建設部長 城山公園の倒木については花見の時期に間に合うよう処理したい。

総務部長 気象情報の発表と同時に職員が庁舎に参集し、情報収集と対応協議の上、学校や保育所、市民への情報提供を行った。

教育長 深い積雪等のため、学校から教育・安全メールの即時発信ができず、保護者への連絡が遅れた。大雪の際の対応を見直し、連絡体制の拡充を図った。



大雪時の除雪の様子

質問 地域おこし協力隊が、任期後も市に定住する可能性は高い。様々な分野で積極的に募集してはどうか。

市長 本市における地域おこし協力隊員の任期後の定住率は75%で、全国的にも高い水準である。今後も積極的に募集し、定住に向けて支援をしていきたい。

質問 移住希望者をサポートするため、仕事のあっせんや地域との仲介等の定住後のフォローを行う、定住支援コーディネーターを本市にも設置してはどうか。

企画政策部長 現在、地域おこし協力隊が移住者目線で本市での暮らしに関する情報発信を行っていることから、一定程度の対応ができているものと考えているが、希望者からの相談があれば、地域おこし協力隊の活用を含めて積極的に対応したい。

- ◎大雪について
- ◎野良猫対策について
- ◎市内の墓地の現状について



石田 義弘 議員

質問 今年の除雪計画では、雪捨て場が2カ所とも幹線道路沿いで、容量的にもぎりぎりであった。雪捨て場の増設を含めた計画の見直しが必要ではないかと考えるが当局の見解を問う。

産業建設部長

今年は大雪により、排雪が集中し、雪捨て場の混雑等により幹線道路に影響を与える状況が見られた。河川管理者と協議し、増設も含めて検討し、次年度へ備えていきたい。

質問

野良猫は、糞尿等の衛生面や発情期の鳴き声等により、市民の生活環境に悪影響を与えるものである。捕獲に関しては、自らが正しい保健所へ持ち込むことになっているが、これは大変困難であり、また、首輪を付ける義務もなく、野良猫が飼い猫かの見分けがつかないなど様々な問題を抱えている。今後どのように対策を実施していくのか。

民生部長

現在、市のホームページで、野良猫への餌づけの禁止や飼い猫の避妊手術等について呼びかけて



野良猫には餌を与えないでください

いる。動物愛護の観点からむやみに捕獲できないため市民への周知や避妊費用の補助制度など、全国の対応事例を参考にしながら対策を検討していきたい。

質問 少子高齢化や核家族化の進行により、墓を管理できず放置されている無縁墓が増えているのではないかと。市内の墓地の現状と今後の防止対策について問う。

民生部長

現状では、経営許可を受けている墓地のみ把握できているが、各地域の地縁団体や個人等で維持管理されている墓地等は多数あり、正確な状況を把握できていない。無縁墓の防止対策については、現在のところ具体的な相談はないが、今後、重要な課題として検討する必要があると考えている。

一般質問

- ◎市庁舎の耐震改修について
- ◎ヤーコン栽培の未来について



山室 秀隆 議員

質問 現在の庁舎を耐震改修する方針とのことであるが、耐震改修後の庁舎の使用年数を問う。また、耐震改修に伴い、庁舎スペースが狭くなることも懸念されるが増築する考えはあるか。

総務部長

コンクリートの状況は概ね良好であるが、電気・機械設備については20年程度で設備の改修が必要になるため、耐震改修後の残存年数は最低20年を目標としている。また、現庁舎でも会議スペースの確保などは課題となっており、庁舎全体のレイアウトを見直す中で、一部機能について増築も視野に入れて検討すべきものと考えている。

質問

現在の庁舎では駐車場が狭く、積雪時や会議があるときは、すぐに駐車場が埋まってしまう。耐震化と合わせて駐車場のあり方について見解を問う。

総務部長

駐車場の十分な確保が必要であり、基本構想・基本設計に当たり、緑地帯も含め、駐車場や出入り口などの動線について検

証し、最大限のスペースが確保できるよう検討したい。

質問 ヤーコン栽培や商品開発に関して、まだ確立されていないことが多いため、高等教育機関等と連携して調査研究できないか。

企画政策部長

いなばヤーコン倶楽部から相談等があれば、高等教育機関との調整を行うなどの対応をしたい。

質問 全国放送のテレビで本市のヤーコンが取り上げられたことにより、問い合わせが増え、本市の認知度も向上した。ヤーコンを通じて「義仲・巴」のNHK大河ドラマ誘致にはずみをつけることはできないか。

企画政策部長

観光出向宣伝において本市の特産品としてヤーコンを紹介し、大河ドラマの誘致と合わせてアピールすることにより、相乗効果が得られることを期待したい。



健康維持に役立つ成分が豊富に含まれたヤーコン



嶋田 幸恵 議員

質問 今年の大雪の際の初動態勢として、市職員の出勤状況はどうだったか。

総務部理事 大雪の影響により交通機関の乱れや交通渋滞が発生した。特に雪の影響が大きかった1月12日は全体の23%、2月6日は全体の9%が始業時刻までに出勤できなかった。

質問 自主防災、消防、社会福祉協議会、医療関係、学校関係と意見交換を行い、情報の共有や横の連携を取るべきではないかと考えるが、当局の見解を問う。

総務部理事 今回の大雪による影響を踏まえ、各団体からの意見や問題点を整理して、今後の防災対策に生かしていくことは非常に重要であると認識している。詳細な方法については、今後検討していきたい。

質問 寿永荘とタワーの湯が廃止されようとしているが、民間委託を含め、今後どのように進めていくのか。

市長 市内の民間施設を有効に活用し、新たな老人福祉センターとして必要な機能

※その他、次の質問がありました。
「統合こども園について」ほか

能を取り入れた施設となるよう、整備していきたい。

また、民間委託については、募集要項を作成し、これから募集する予定である。

質問 ①勤労青少年ホーム、石動コミュニティセンター、②石動幼稚園、③クロスランドタワーの今後の見通しについて問う。

教育長 ①この2施設と市民会館、市民活動サポートセンターを（仮称）石動コミュニティプラザへと統合し、平成32年中の供用開始を目指し計画を進めているところである。②閉園後は、その跡地を（仮称）石動コミュニティプラザの駐車場として利用する予定である。

③現在策定中の小矢部市公共施設再編計画との整合性を図りながら、長寿命化計画の策定を進めている。



平成32年の供用開始を目指し、（仮称）石動コミュニティプラザの整備計画が進められている



加藤 幸雄 議員

質問 11月には石動駅の南北自由通路が完成する見込みであるが、今後の駅南開発はどのような構想で進める予定であるか。

企画政策部長 市では石動駅南に公社の所有地と民有地を合わせた9千410㎡の用地を確保しており、現在、ビジネスホテルの誘致を目指し取り組んでいる。駅前を含めた駅周辺に日常生活サービス機能の集積を進めており、今後、駅周辺エリアを一体的に開発する構想で進めたいと考えている。

質問 呉西6市の中で比較して、本市の財政状況について問う。

総務部長 実質公債費比率、将来負担比率については6市のうち下位2番目やや高めだが、早期健全化基準を下回っている。財政力指数については、上位3番目で、市税などの自主財源が増加しており、着実に本市の基礎体力が高まっているものと考えている。財政調整基金残高は一番低い

が、地方公共団体の一般財源の

※その他、次の質問がありました。
「訪日外国人について」

標準的な大きさを示す標準財政規模の約10%を確保している。起債残高は、通常会計で比較した住民1人当たりの額は一番低い。総体的に健全財政を維持しているものと考えている。

質問 県が邑知瀉断層帯地震の被害想定を公表した。本市では、最大で、死者354人、建物の全半壊1万6819棟、負傷者1千664人と想定されているが、被害を最小限に抑えるための対策について問う。

総務部理事 木造住宅の耐震診断、耐震改修、耐震シエルト等への支援を継続して行い、併せて、耐震化を終えていない市庁舎等の公共施設の耐震化を着実に進める考えである。加えて、市民の防災意識の啓発、防災教育を推進するなどの取り組みを進めたい。

標準的な大きさを示す標準財政規模の約10%を確保している。起債残高は、通常会計で比較した住民1人当たりの額は一番低い。総体的に健全財政を維持しているものと考えている。



石動駅の完成模型（市役所ロビーで展示中）

***用語解説**

「減額調整措置」

……自治体が医療費助成を行うことにより、助成対象者の受診機会と医療費の増加につながるということから、増加分については当該自治体が負担すべきという考えにより、当該分の国庫補助を減額する措置が取られている。

- ◎第7次総合計画におけるハコモノ建設が与える市財政への影響について
- ◎生活保護切り下げと貧困化の連鎖について
- ◎子育て支援について
- ◎水道料の値下げについて

砂田 喜昭 議員



質問 これから整備する公共施設について、事業の先送りをするなどして、市財政への影響を少なくすることはできないか。

市長 石動駅周辺整備事業をはじめとした都市再生整備計画事業、統合こども園整備、市役所耐震改修については、地方財政の措置の期限等があるため先送りは難しいが、財源措置に影響のない建設事業については、第7次総合計画において事業化の時期等を十分に検討していきたいと考えている。

質問 県内でも、第2子の保育料の無料化に踏み切った市が出てきたが、本市でも、このような思い切った保育料の負担軽減策を実施できないか。

民生部理事 平成30年10月から県が実施する低所得者世帯への保育料の軽減拡充施策に準じて本市も進めたいと考えている。

質問 今年の10月から高校生等の入院医療費の無料化が開始されるが、子どもの健全な成長を進める上では

※その他、次の質問がありました。
「生活保護切り下げと貧困化の連鎖について」ほか

まだまだ不十分である。通院費も無料化にできないか。
民生部理事 まずは入院医療費無料化についての検証を行い、限りある財源の中で他の施策との均衡を考慮しながら、優先順位を定め取り組んでいきたい。

質問 未就学児までの医療費助成に係る減額調整措置が廃止される予定だが、この財源を活用して、子どもに課税される国保税の均等割を廃止できないか。被用者保険では扶養人数が増え、保険料は上がらない。

民生部長 平成30年度から国保制度が県域化され、保険料水準の統一化が検討される。本市独自で子どもの均等割を廃止することはこの妨げとなると考えている。減額調整措置廃止に伴う財源の活用等について、県内で統一に取り組めるよう話し合いを進めたい。



今年の10月から高校生等の入院医療費の無料化が始まります

一般質問

- ◎「石動駅南」における今後の方向性について
- ◎福祉行政について
- ◎子供達を取りまく環境改善について

中野留美子 議員



質問 若い人の中では、メルヘンチックな結婚式を挙げたいという需要の高まりがあることから、石動駅南に結婚式場を誘致してはどうか。

企画政策部長 まずは、企業から強い要望があるビジネスホテルの誘致を進めたいと考えている。賑わい創出のためには、様々な観点からのアプローチが必要であり、今回の提案も参考とさせていただきます。

質問 避難行動要配慮者支援名簿*を作成する際に、福祉の分野から名簿への登録を働きかけることにより、実情に沿った名簿が作成できる。地域包括ケアシステムを構築する過程で、自主防災組織と協力することが必要だと考えるが、本市ではどのようにしているか。

民生部長 民生委員や児童委員などの福祉分野から、避難行動要配慮者支援名簿への登録を働きかけている。今後とも、自主防災組織などの関係機関との情報共有等の連携に努めていきたい。

質問 1日に1.5Lの水を飲むことにより、認知症改善に効果が見られたという記事があった。この運動は富山市でも取り入れられているが、本市でも取り入れてはどうか。

民生部理事 認知症との因果関係については明確にできないが、水分摂取量が十分だと脳梗塞等のリスク要因となるため、本市においても介護予防事業等で水分補給の必要性を伝えている。今後とも普及啓発活動に努めていきたい。

質問 野外で運動をしているときに、AEDが必要となる可能性が高いが、学校のグラウンドにAEDを設置できないか。

教育委員会事務局長 学校のグラウンドにAEDを設置する場合、不特定多数の人々が自由に利用することが可能であり、施設等の管理が難しいため、慎重に検討したい。



自動体外式除細動器AED

***用語解説**

「避難行動要配慮者支援名簿」

……災害時等に自ら避難することが困難な人について、避難の支援、安否の確認その他の避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎とする名簿。

予算特別委員会

平成30年度当初予算案を審査するため、予算特別委員会（委員長 中田正樹・副委員長 中野留美子）において、3月12日から14日までの3日間、活発な議論が行われ、採決の結果、全8議案を原案のとおり可決しました。

委員会報告

定例会の会期中に開催された委員会審査の過程において、市当局に対し、次の意見がありました。

予算特別委員会

一点目は、過去最大の大型予算を編成されたが、起債を抑制し、次世代の負担軽減に努め、財政の健全化に十分留意すること。また、予算の執行にあたっては、適正な職員配置と的確な実施に努めること。

二点目は、公共施設再編計画については、前期十年間を再編強化期間とし、議会との連携を図りながら、先送りせず早期に実施していくこと。

三点目は、大規模災害時の被害想定が大幅に変更されたことを受け、備蓄

を始め避難場所等の防災体制について早期に見直しを行うこと。同時に家屋の耐震化等、災害に強い地域づくりにも取り組むこと。

四点目は、石動駅舎及び南北自由通路の完成を機に、更なる駅周辺の賑わいづくりに取り組むこと。また、石動駅を中心とした公共交通機関の利便性を高め、街中誘導を押し進め、あわせて利用率の向上を図ること。

五点目は、高齢者が安心して暮らせるよう、健康増進、健康寿命の延伸を図り、福祉サービスの継続、充実を図ること。国民健康保険の制度改正、介護保険料の引き上げが見込まれているが、市民の負担軽減に努めること。

六点目は、ケーブルテレビの番組編成については、地域番組の充実を図り、市民に対してより良い情報の提供を行うこと。また、経費の見直しを行い、負担の縮減に努めること。

七点目は、定住支援策及び子育て支援策については、随時、的確に検証を行い、有効な施策については充実を図ること。

八点目は、小矢部型稼げる農業創造事業を通して、自立できる体制を整備するとともに、担い手育成にも取り組むこと。また、速やかに稲葉山中長期ビジョン計画の具現化を図ること。

九点目は、空き家対策については、

今回策定される「小矢部市空家等対策計画」に基づき、着実に対策を推進すること。

十点目は、津幡から芹川までの国道8号4車線化の早期事業化に努めること。

十一点目は、東京オリンピックに向けて、スポーツ選手の強化を図ること。

総務常任委員会

一点目は、災害想定を呉羽山断層帯を震源とする地震から邑知潟断層帯を震源とする地震に変更したことにより被害想定が大きくなったことから、災害備蓄の充実や、避難所の機能・収容人数等への対策を行い、実効性のある防災計画とすること。

二点目は、第7次小矢部市総合計画の策定にあたっては、小矢部市の今後十年を方向づける最上位の計画であることから、幅広く市民の声を集め、より良いものとなるよう努力すること。

産業建設常任委員会

稲葉山カフェレストランの運営について、四月一日から営業が開始されるが、まずは、土日祝日の営業を安定的に行い、来訪者に満足してもらえる施設となるよう努めること。

また、夏休みなどの期間は、平日であつても需要が多いことが予想されることから、今後、ニーズの把握に努めるとともに、カフェレストランの経営状況等を勘案して、需要の多い時期の平日営業について検討すること。

民生文教常任委員会

一点目は、一般廃棄物処理基本計画について、一般廃棄物の排出量は年々増加していることから、今回策定する基本計画に基づき、適正に各種施策を実施し、減量化や再資源化にしっかりと取り組むこと。

二点目は、放課後児童クラブについては、これからも利用者のためにサービスマンの充実を図っていくことは必要ではあるが、今後の施設整備に関しては、空き教室等の有効活用なども十分に検討すること。

人事案件

◎人権擁護委員の候補者の推薦

稲葉 和子 氏（水島）

山本 善継 氏（西島）

牧本 雄一 氏（西福町）

閉会中委員会開催状況

総務常任委員会

2月6日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・大規模な地震発生時は、下水道の配管も損傷が受ける可能性が高い。避難所のトイレの確保の観点からも、新規の公共施設の建設時には、合併処理浄化槽の設置も視野に入れるなどの検討をして欲しい。

産業建設常任委員会

1月30日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・能越自動車道福岡本線料金所の無料化に伴い、特に小矢部東インターチェンジ周辺では交通量の増大が懸念される。周辺には通学路もあることから、地元住民との話合いの場を設け、対策を講じて欲しい。

民生文教常任委員会

2月5日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・住民サービスの向上のために、新図書館で住民票の写しや印鑑登録証明書が発行できるよう検討して欲しい。

公共施設再編特別委員会

1月26日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・市本庁舎は災害時の拠点となることから、市本庁舎の耐震改修に合わせ、トイレの洋式化を進めるなど衛生設備の面でも考慮して欲しい。

交通対策特別委員会

1月29日に所管事項調査として、委員会を開催しました。

*所管事項について、委員から意見がありました。

・中心市街地の活性化のために、アウトレットシヤトルの運行ルートを市街地経由とできないか。関係機関との協議・検討を進めて欲しい。



議長交際費はスポーツ選手等への激励金などに使われています

平成29年度 議長交際費支出内訳表

平成29年4月～平成30年3月 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	29	479,920
① 御祝・寸志	7	83,120
② 激励金	16	305,000
③ 見舞・香典	6	91,800
2 協賛費	23	84,843
3 会費・懇談会費	24	210,959
4 その他	19	169,448
合計	95	945,170
平成29年度予算額		1,400,000
執行率		67.51%

*小矢部市議会のホームページからご覧いただけます。

議会改革案の主な内容

- ◎委員会での審議等をより深く活発に行えるよう、現行の総務・産業建設・民生文教の3常任委員会を、総務産業建設・民生文教の2常任委員会とする。
- ◎大規模災害等が発生した非常時においても、機能停止することなく、有効な議会運営ができるよう、小矢部市議会災害時BCP*を新たに策定する。
- ◎議員定数は、二元代表制における議会の役割を保持、及び更に強化していくためにも現行の定数16人のとおりとする。
- ◎議員報酬の額は、昨今の社会情勢等を鑑み、現行のとおりとする。
- ◎常任委員会等の視察報告書は、議会事務局内において自由閲覧を可能とする。
- ◎ペーパーレス化に向けたタブレットの導入については、先進地の例を参考に、引き続き、検討していく。
- ◎市議会の活動を広く周知するため、市議会HPで委員会等の開催状況や審議内容を掲載する。

*用語解説

「BCP(業務継続計画)」

……災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。

■ 会務報告

平成 29 年 12 月 23 日から平成 30 年 3 月 1 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
30. 1. 5	新年挨拶回り	・富山県、県出先機関、富山河川国道事務所、津幡町	富山市、津幡町
1.10~11	新年挨拶回り	・県選出国会議員、市関連企業等	東京都千代田区他
1.15	富山県市議会議長会議員研修会	・講演 「北陸新幹線開業後の現状と今後の富山の展望」	富山市
1.15~18	富山県日台友好議員連盟訪台	・台湾日本関係協会表敬訪問他	台湾
1.24	議会だより編集委員会	・議会だよりNo.188について	第二委員会室
1.26	公共施設再編特別委員会	・（仮称）津沢夜高会館の整備について他2件報告	第二委員会室
1.29	交通対策特別委員会	・石動駅周辺市営有料駐車場の料金設定（案）について他2件報告	第二委員会室
	富山県市議会議長会正副議長研修	・講演 「最近の地方議会の取組み」	氷見市
1.30	産業建設常任委員会	・平成29年度道路除雪の実施状況について他1件報告	第二委員会室
2. 1	全国広域連携市議会協議会理事会・総会	・議事 平成30年度協議会歳入歳出予算他2議案	東京都千代田区
2. 5	民生文教常任委員会	・小矢部市男女共同参画プラン（第2次）の改定について（中間報告）他1件報告	第二委員会室
2. 6	砺波地方衛生施設組合議会定例会	・議事 平成30年度一般会計予算他2議案	高岡市
	総務常任委員会	・小矢部市PR動画の完成について他1件報告	第二委員会室
2.16	砺波地域消防組合議会定例会	・議事 平成30年度一般会計予算他6議案	砺波市
2.19	高岡広域圏事務組合議会定例会	・議事 平成30年度一般会計予算他5議案	高岡市
	富山県市議会議長会総会	・議事 平成30年度一般会計予算他4議案	富山市
2.22	砺波地方介護保険組合議会定例会	・議事 平成30年度一般会計予算他8議案	砺波市
2.23	議会運営委員会	・3月定例会提出議案について他	第二委員会室
2.27~28	議案説明会	・平成30年3月定例会提出議案等	第一委員会室

6月定例会の日程(予定)

8日(金) 10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

11日(月)

議案調査日

12日(火)

議案調査日

13日(水)

議案調査日

14日(木)

9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

15日(金) 10時 本会議(一般質問)

18日(月) 10時 民生文教常任委員会

14時 公共施設再編特別委員会

19日(火) 10時 産業建設常任委員会

14時 交通対策特別委員会

20日(水) 10時 総務常任委員会

21日(木) 議案調査日

22日(金) 10時 議会運営委員会

11時 委員長会議

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

※ピンク色の文字はケーブルテレビで生放送予定です。
 ※平日午後7時~同週の土曜午後6時から再放送予定
 録画映像はインターネットにて配信を行う予定です。

※市議会では、市民の皆様様の傍聴をお待ちしております。詳細については、市議会のHPをご覧ください。



編集後記

今回の議会改革案をまとめるに当たり、平成29年6月に小矢部市議会改革協議会を設置し、議員定数をはじめとした多岐にわたる項目について、延べ17回にのぼる会議を開き、議論を重ねて参りました。

議論を重ねた結果、二元代表制における議会の役割である執行機関の監視や政策提言などをより強く推進することを目的として今回の改革案が取りまとめられることとなりました。

今後とも、議会に求められている役割を的確に把握し、その役割を果たしていくとともに、より開かれた議会となるよう、議会改革・改善に積極的に取り組んで参りますので、市民の皆さんのご理解をよろしく願います。

(改革案の詳細はHPをご覧ください)



次回の「議会だより」は、平成30年8月の予定です。(議会だより編集委員一同)